

●みんなの心をつなぎ、心をはぐくむ施設

市子育て総合支援センター 「こっころ」がオープン

市子育て総合支援センター「こっころ」（工藤正弘所長）が4月1日、水沢区にオープンしました。同センターは、従来のいずみ保育園のほかに、子育て相談窓口や発達支援施設などが設けられた複合施設です。市内で初めて誕生した子育て支援複合施設の概要をご紹介します。



子育てのためのさまざまな機能が備わった市子育て総合支援センター（写真全景）、開所式で開放感あふれるプレイルームでは幼児教室が開かれる（写真中央）、ステンドグラスからやわらかい光が差し込むいずみ保育園の遊戯室（写真左）

子育て支援複合施設が誕生

市子育て総合支援センター「こっころ」の開所式は4月1日、水沢区字田小路の同センターで行われました。関係者や園児ら約60人が出席し、子育て支援の複合施設誕生を祝いました。

同センターは、▽子育て広場の「こっころ広場」▽いずみ保育園▽子ども発達支援センター▽幼児教室「らら」（水沢区・旧みなみ幼児教室）の4つの施設で構成されています。延べ床面積1257平方メートルの木造平屋建てで、保育士のほか、保健師や助産師、臨床心理士、療育指導員が常駐しています。愛称は公募で選ばれ、水沢

区の伊藤優児さんが提案した「こっころ」が採用されました。「親・子・支援者の心をつなぎ、心をはぐくむ施設となってほしい」という願いが込められています。

開所式の中で工藤所長は「子育てについて気軽に相談できるような、市民の役に立つセンター作りを職員一丸とって進めたい」とあいさつ。今後の発展を誓いました。



【問い合わせ・相談先】

- 市子育て総合支援センター
〒023-0803 水沢区字田小路 67 番地
TEL:24-6405 FAX:24-6470
✉ kosodatesougou@city.oshu.iwate.jp
- ・子育て広場（TEL:24-6405）
 - ・いずみ保育園（TEL:24-6425）
 - ・子ども発達支援センター（TEL:23-4618）
 - ・幼児教室（TEL:23-4619）

総合支援センターが行う4つの事業

同センターでは、次の4つの事業を行っています。お気軽にご利用ください。

①こっころ広場

未就園の子どもと保護者が自由に集い遊べる場所です。子育ての疲れを癒やしたり、交流を深めたりできます。子育てについて、スタッフと相談することも可能です。

②いずみ保育園

0歳児から就学前までの子どもを受け入れ、健やかに成長できるような保育に取り組んでいます。そのほか、地域の子育てを応援するために、一時保育、園開放、保育体験、育児相談なども行っています。

利用を希望する人は、事前にご相談ください。

③子ども発達支援センター

子どもの健やかな成長を支援する施設です。発達に課題や障がいのある子どもたちについて、臨床心理士・療育指導員が、医療や保健などの関係機関と連携しながら、相談や助言などを行います。水沢区の「幼児教室らら」が施設内で活動するほか、各区の幼児教室を総合的に支援します。

④子育て相談窓口

子育て全般の相談事に、保健師や助産師、保育士などの専門スタッフが対応します。専門的な知識を生かした助言のほか、さまざまな機関などから援助が受けやすくなるよう支援します。



ファミリーサポートセンターが全市に拡大されました

ファミリーサポートセンターは、育児の援助を受けたい人と、支援したい人が会員となり、助け合う制度です。保育園や幼稚園の送迎、一時預かりなどを、お願いすることができます。

市内では、水沢区と前沢区で行われてきましたが、ことしの4月から市内全域に拡大されました。利用するためには会員登録が必要です。詳しくは、センター事務所となっている市社会福祉協議会などへお問い合わせください。

◇開設時間

午前9時～午後5時

◇利用料金

有料（登録は無料）

◇会員登録に必要な物

印かん、会員証用の顔写真

◇問い合わせ・申込先

市社会福祉協議会本所（☎06309）と各支所、エンゼルプラザみずさわ



子ども手当制度が9月まで継続されます

昨年4月に始まった子ども手当制度が、ことしの9月まで継続されることになりました。6月と10月に、4カ月分が支給される予定です。

現在、子ども手当を受け取っている人は、改めて申請する必要はありません。これまで受給していない人や、出生などで子どもが増えた人、本市に転入してきた人は申請が必要です。10月以降は、今のところ未定となっていますので、決まり次第お知らせします。

◇問い合わせ

本庁子ども・家庭課家庭福祉係（内線 234）